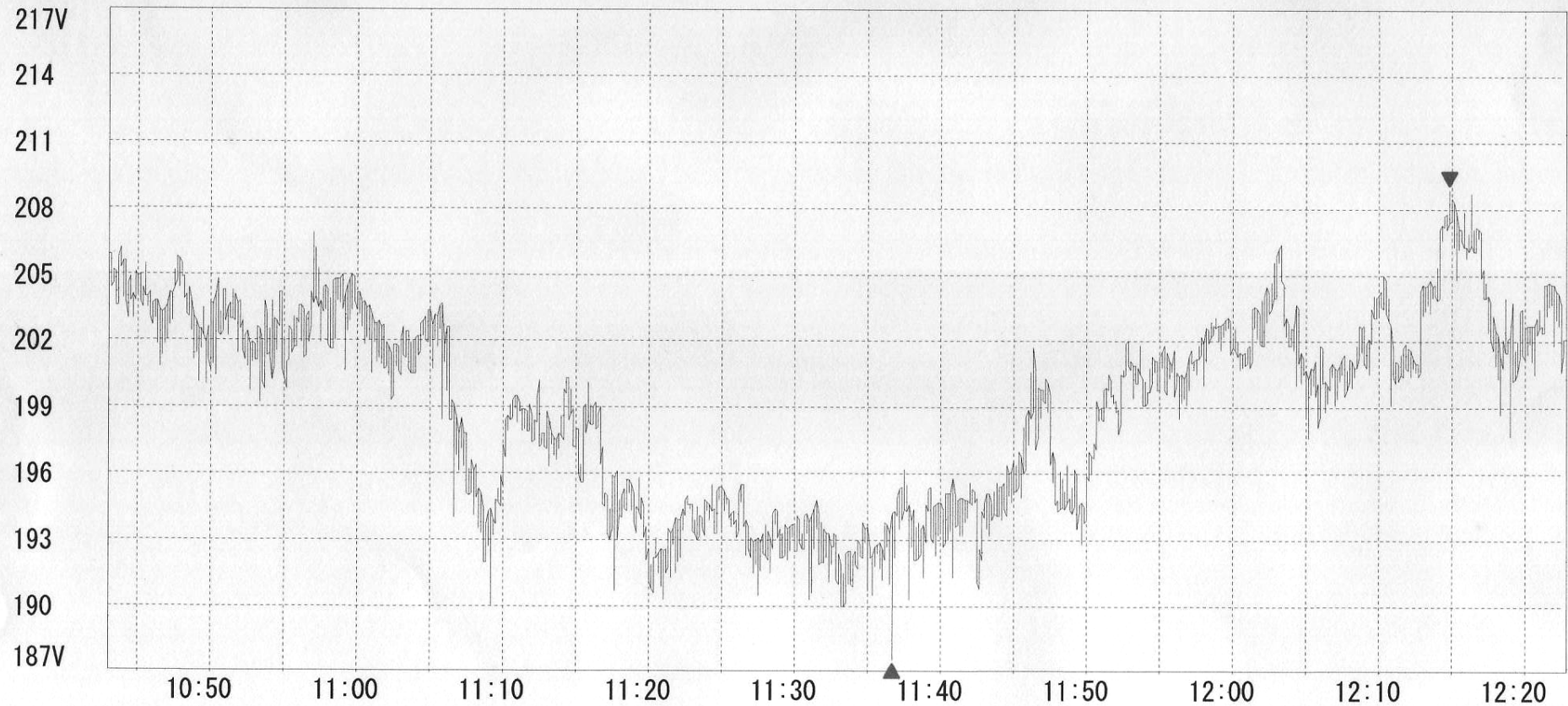


表示期間 : 2007年09月01日 10時42分～2007年09月01日 12時22分

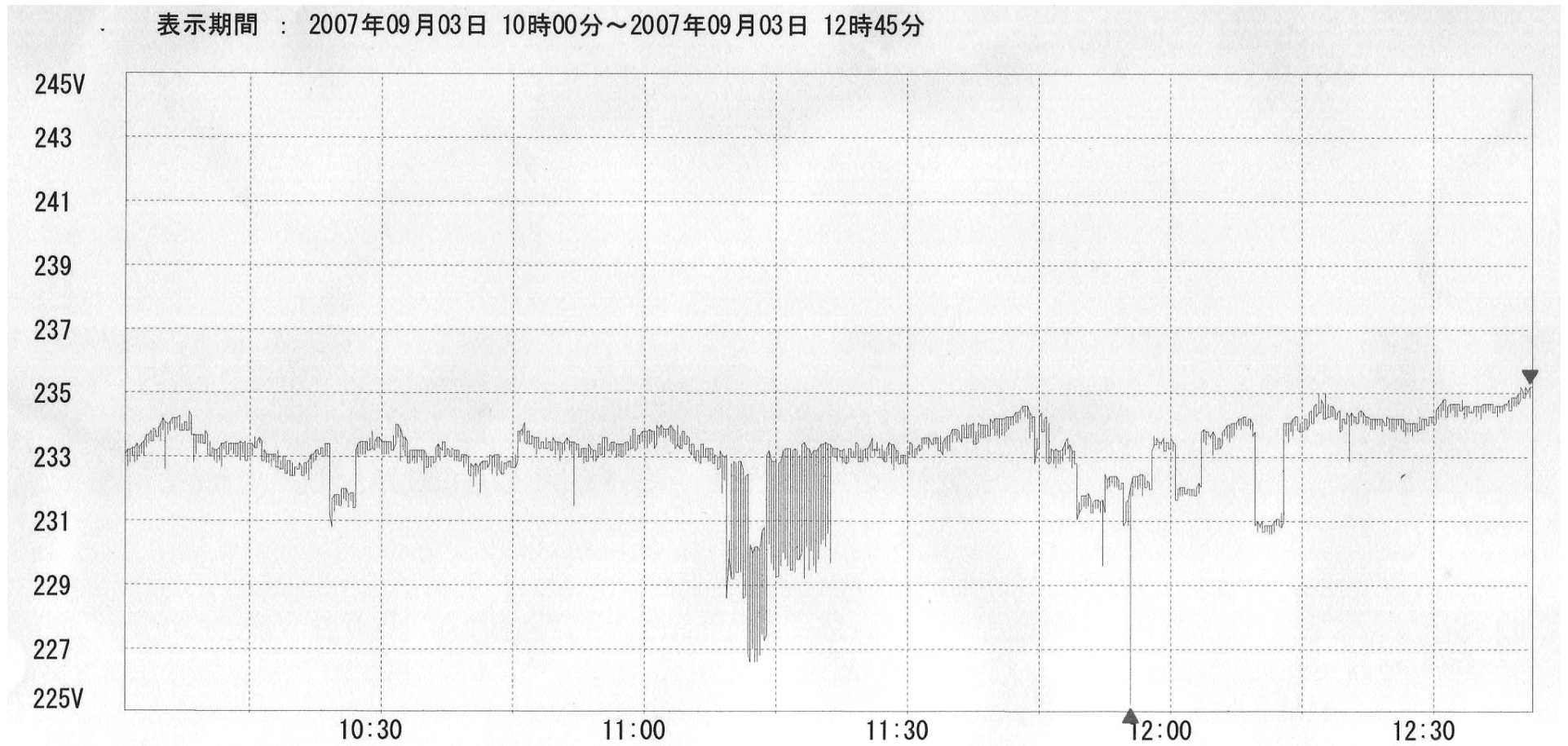


最大値 : 208.9V (2007年9月1日12時14分)

最小値 : 187.6V (2007年9月1日11時36分)

測定場所 : BBSC ジャカル拠点局内

図 3-2-6 BBSC ジャカル拠点局の電圧測定結果



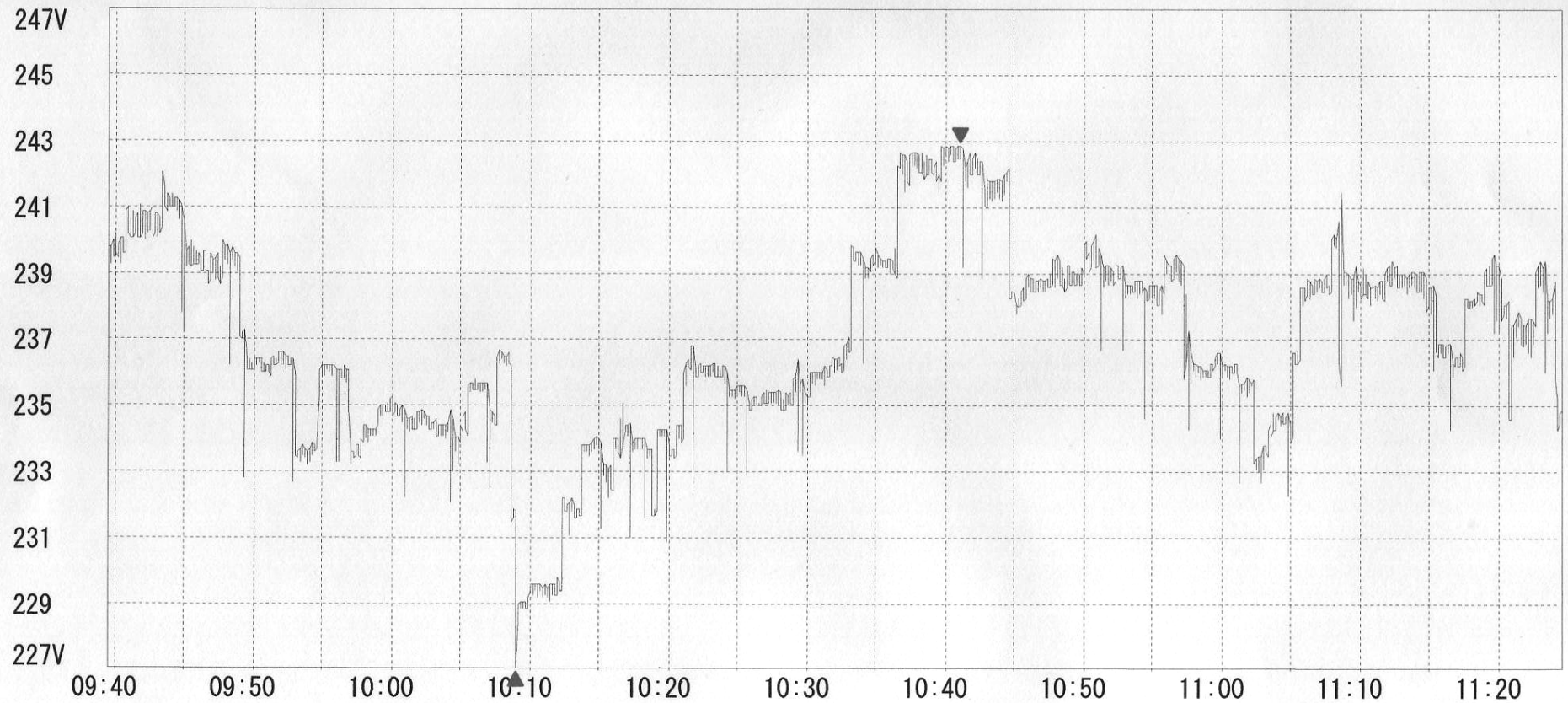
最大値 : 235.2V (2007年09月03日 12時43分)

最小値 : 225.3V (2007年09月03日 11時55分)

測定場所 : BBSC カンルン拠点局内

図 3-2-7 BBSC カンルン拠点局の電圧測定結果

表示期間 : 2007年08月31日 09時39分～2007年08月31日 11時29分



最大値 : 242.9V (2007年08月31日 10時40分)

最小値 : 227.1V (2007年08月31日 10時08分)

測定場所 : BBSC ワンデュ・フォダン支局内

図 3-2-8 BBSC ワンデュ・フォダン支局の電圧測定結果

2) 空調設備

放送機材は精密機器であり、室内の温度・湿度の急激な変化による結露の発生を防ぐために、適切な空調管理が必要である。調査団は、既設の空調設備の運転能力・効果を確認するため、室内の温度、湿度の変化を長時間記録可能なデジタル式測定器を用い、以下の条件下で測定した。

BBSC 本局

測定期間： 2007年9月13日(14:20)～14日(14:20)

測定場所： 主調整室
コンティニューイティースタジオ
プロダクションスタジオ副調整室
プロダクションスタジオ
UPS室

結果： 図3-2-9参照

考察： 測定の結果、各測定場所での温度は、概ね18 から30 の範囲で推移しており、放送機材の発熱等による突発的な温度上昇並びに長時間にわたる高温状態は見られない。また、各測定場所での湿度は概ね70%以下であり、温度又は湿度が上昇した際は既設の空調設備が適切に機能している様子がうかがわれ、結露が発生する恐れはない。

以上から、調査団は、BBSC が今後とも既設空調設備を適切に運用維持管理することを前提として、本計画における空調設備の更新は必要ないものと判断する。

BBSC 支局

測定場所/期間：本計画対象地の以下5支局について測定した。

カンルン拠点局/2007年9月3日(09:57)～(11:57)
ジャカル拠点局/2007年9月1日(09:57)～(11:57)
プンツォリン拠点局/2007年9月9日(09:57)～(11:57)
ワンデュ・フォダン支局/2007年8月31日(09:57)～(11:57)
パロ支局/2007年9月7日(09:57)～(11:57)

結果： 図3-2-10参照

考察： 測定の結果、各測定場所での温度は、概ね20 から29 の範囲でほぼ一定しており、放送機材の発熱等による突発的な温度上昇並びに長時間にわたる高温状態は見られない。また、各測定場所での湿度は、90%を超える状態は見受けられず、気温もほぼ一定であることから、結露が発生する可能性は低いものと考えられる。

以上から、調査団は、本計画においてBBSC 拠点・支局での空調設備の設置は特に必要ないものと判断する。

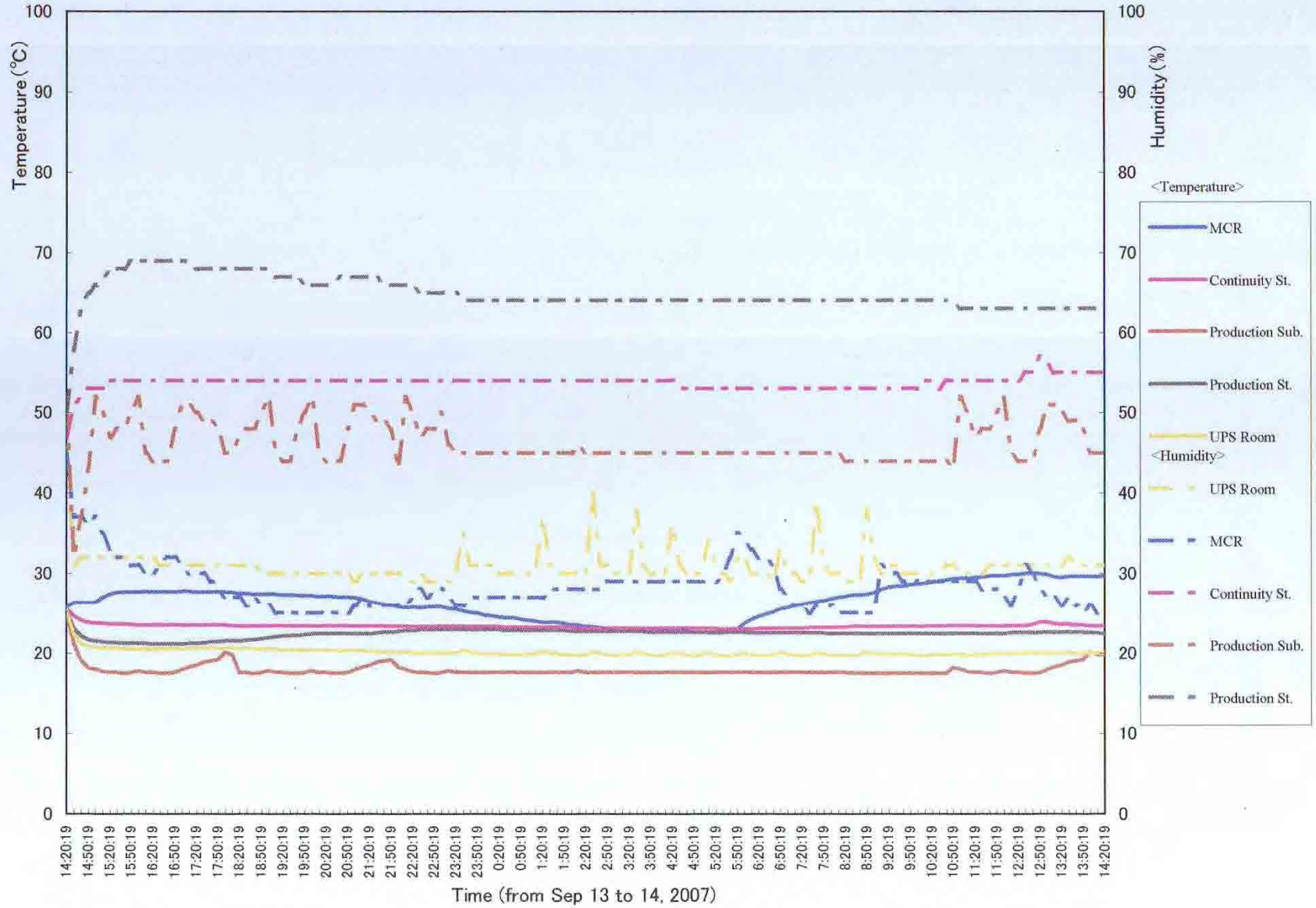


図 3-2-9 BBSC 本局の温湿度測定結果

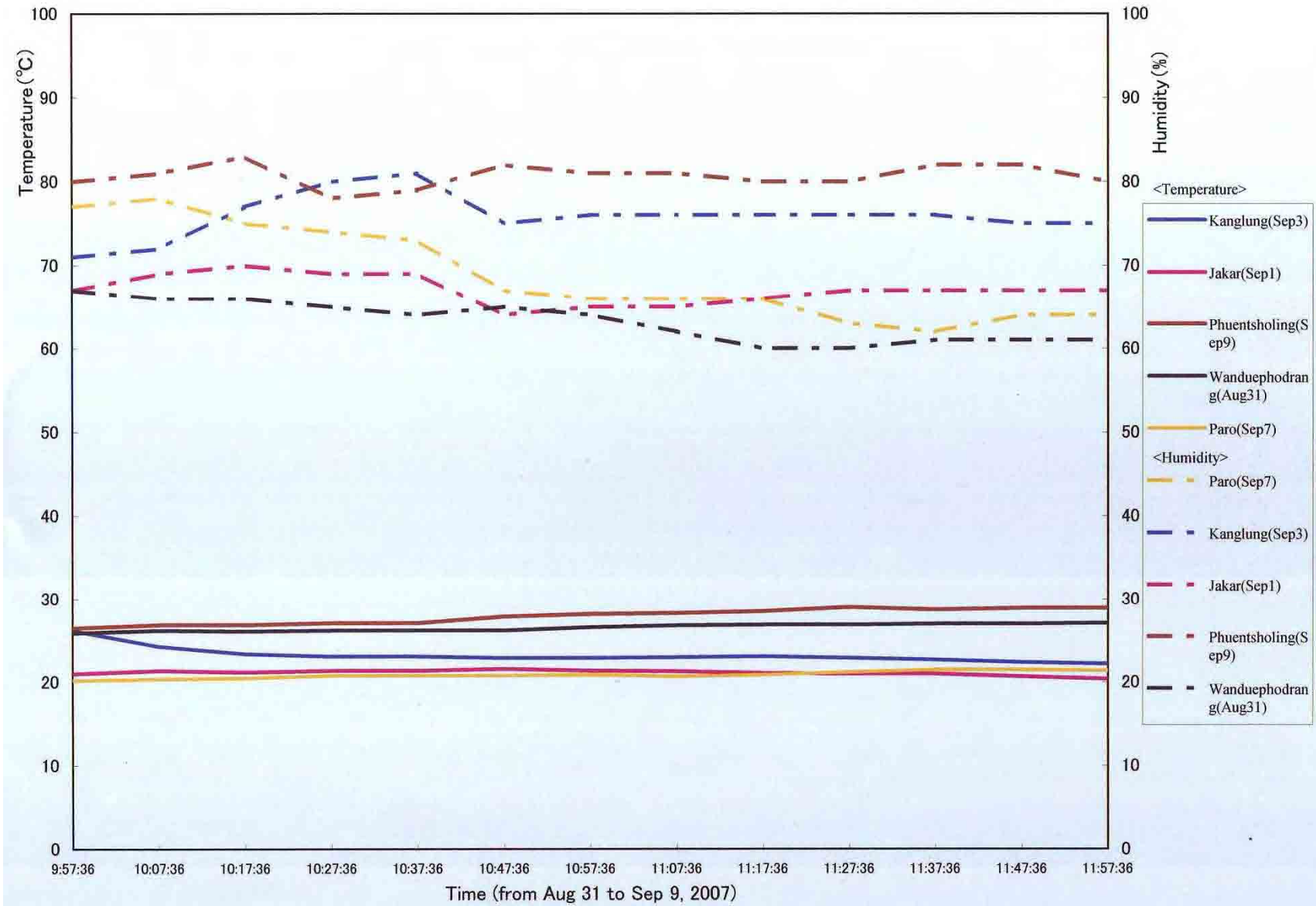


図 3-2-10 BBSC 支局の温湿度測定結果